



岐阜市立岩野田北小学校 学校だより

せんだんの本



令和7年11月28日 校長 各務 至

清々しい子供たち

11月1日（土）早朝、前日の雨も上がりグラウンド状態は良。いい運動会になる予感の中、パパレンジャーの皆さんの助けを得ながら、テント張りや入退場門設置などの準備ができました。やがて子供たちが登校し、無事に開会式を迎えました。この後に繰り広げられた運動会は、この日の青空と同じくらいに清々しく、子供たちがグラウンドに余韻を残してくれたようでした。

今回、私の関心があったことの一つに「学級内で赤白に分かれている子供たち」というのがありました。約1か月の練習から当日まで、同じクラスの中で敵味方に分かれているのです。大人には理解しがたいことではないでしょうか。私はこの意味をずっと考えていましたが、子供たちが少しずつ教えてくれたようでした。

まず、開会式の選手宣誓ですが、赤白の代表がタイミングを合わせたり、声を揃えたりしているのです。火花が散るのではなく、まさに「正々堂々」としていました。次に、競技中の応援についてです。本校は応援団を組織していないのですが、それでも、声援が自然に沸き起こるのです。子供の席の様子を見ると、となりどうしで、「次は〇〇だよ。」と言い合いながら、手を振ったり拍手を送ったり声をかけたりして仲間を支えようとしています。競技についてです。順位が付くたびに、子供たちのいろんな思いが渦巻いているのが見て取れました。思い通りにはいかず悔しい思いをしている子もいました。しかし、その時の振る舞いは大人も学ぶべき清々しさを感じました。結果が良くなくても、自分のできたことに納得している子もいました。最後に結果発表です。子供たちは祈るような気持ちで待ちました。「白647、赤623」と発表され、白は大喜び、赤は白に拍手を送ったり涙を流して悔しがったりしていました。子供たちは勝つことにも真剣だったのです。続いて、児童代表が運動会を振り返りますが、驚いたことに、全ての学年の良さを運動会スローガンに当てはめながら表現しました。みんなのがんばりをよく見ていたのですね。そして、自身の勝ち負けの感情をいったん整理できたのでしょう。

おそらくですが、このおかげで、「学級内で赤白に分かれている子供たち」はノーサイドになったのではないかと思います。もちろん、小さな問題はあったかもしれませんが、休み明けの月曜日には、子供たちはいつも通りの仲間でした。清々しい子供たちに学ぶことばかりでした。



さつまいも給食

20日(木)、関係の方々をお招きして、収穫したさつまいもをシチューに使った給食を振舞いました。子供たちからは、さつまいも栽培を支援してくださったお礼を手紙にしたため、お一人ずつにお渡しすることができました。皆さんからは、「甘い！大きい！」といった声が聞かれました。

この子供たちは、委員会の活動などとは別に、自主的にプロジェクトとして参加しており、前日も休み時間に給食用のさつまいもを洗ったり、さつまいもに関することをお昼の放送でお知らせしたりしています。

なお、収穫したさつまいもは、事前にひまわりの会のみなさんの手により、給食用と子供たちの持ち帰り分に仕分けしていただいております。



見守り隊表彰



21日(金)、岩野田北小学校の見守り隊が県から「岐阜県地域子ども支援賞」の表彰を受けました。これは、安全な登下校を支援してくださった長年の功績が認められたものです。学校としても嬉しく思うと同時に、感謝の念に堪えません。引き続き、よろしくお願いいたします。

本の読み聞かせ



25日(火)、ボランティアの方々による読み聞かせがありました。今年度は1～3年生、ふわり、きらりを対象に4日間行われます。中には、紙芝居を用意してくださる方もあり、子供たちからは「やったー！」という歓声も上がっていました。いつも子供のことを思いながら活動してくださることに感謝申し上げます。ありがとうございます。

授業参観

先日は授業参観等にお越しいただきまして、ありがとうございました。お子さんのご様子はいかがだったでしょうか。気づかれたことがありましたら、学級担任等までにご連絡ください。